

## 日本戦災者同盟會全國聯合會決議事項中戰災者救濟

## 対策に關する答辯要旨

## ✓ 戰災者救護法を創設して戰災者の最低生活を保障すること

政府では、今議會に生活保護法案を上程する豫定をもつて、目下準備中である。この法律は戰災、引揚、失業、傷病或ひは遺族たる等その原因の如何を問はず、凡そ最低生活の維持に困難を感じてゐる者を無差別、平等に保護しようとするものである。保護は、生活費の補給の外醫療、出産、生業、葬祭に對して行はれる。

尙ほこの法律が實施せられるまでの間、大体同様の保護を現に實施してゐる。

## 二、國庫負擔に依る戰死者遺族並に海外引揚者の救護徹底

戰災者、引揚者の遺族であつて苟くも最低生活の維持に困難を感じてゐるものは、當然前項の措置により保護されることになる。

尙遺族中の寡婦、孤兒等に對しては別に特殊の援護等を講ずる様目下準備中である。

## 三、戰災孤兒、引揚貧困兒の救護徹底

戰災者の孤兒の救護については、その收容保護施設の擴充、強化を圖り、漫然と放置せられた懸念を彷彿する等のことがない様努めてゐる。

尙その養育、精神指導等については、特別の考慮を拂ふ必要があると認められるので目下その適切なる方途について考究中である。

## 四、戰災者を對象とする醫療機器及び衛生諸施設を擴充し戰災者醫療費の國庫負擔

戰災者の爲の醫療機關としては、完備した國立病院、國立療養所が最適である。これは外來診察は勿論、入院診療をも行つて居り、その費用についても、患者の生活状況に應じて減免できることになつてゐる。

## 五、恩賜財團同胞援護會に對する同盟の運營參加

同胞援護會に引揚者又は戰災者の各種援護團體の連絡委員會を設置する等の方途により同會と各種團體との事業運營上の密接なる連絡を圖る様に指導したい。

## 六、戰災女子に對し衣料の即時特配

戰災者、引揚者の女子に對する衣料給與については政府も常に苦慮してゐるところである。引揚者、戰災者については現に一部實施してゐるが、この點については、今後更に事情の許す限り努力したいと考へてゐる。

## 日本戦災者同盟会全國聯合會決議事項中戦災者救濟

## 對策に關する答辯要旨

一、戦災者救護法を創設して戦災者の最低生活を保障すること。

政府では、今議會に生活保護法案を上程する豫定をもつて、日下準備中である。この法律は戦災、引揚、失業、傷病或ひは遺族たる等その原因の如何を問はず、凡て最低生活の維持に困難を感じてゐる者を無差別、平等に保護しようとするものである。保護は、生活費の補給の外醫療、出産、生業、葬祭に對して行はれる。

尚この法律が實施せられるまでの間、大体同様の保護を現に實施してゐる。

二、國庫負擔に依る戦死者遺族に海外引揚者の救護徹底

戦災者、引揚者の遺族であつて苟くも最低生活の維持に困難を感じてゐるものは、當然前項の措置により保護されることになる。

同遺族中の寡婦、孤児等に對しては別に特殊の援護等を講ずる様日下準備中である。

三、戦災孤児、引揚孤児の救護徹底

戦災者の孤児の救護については、その收容保護施設の擴充、強化を圖り、漫然と放置せられた盡頭を彷徨する等のことがない様努めてゐる。

尚その教育、精神指導等については、特別の考慮を加ふ必要があると認められるので日下その適切なる方途について考究中である。

四、戦災者を対象とする醫療機関及び衛生諸施設を擴充し戦災者醫療費の國庫負擔

戦災者の為の醫療機関としては、完備した國立病院、國立検査所が最適である。これは外來診察は勿論、入院診療を行つて居り、その費用についても、患者の生活状況に應じて減免できることになつてゐる。

五、恩賜財團同胞援護會に對する同盟の運営參加

同胞援護會に引揚者又は戦災者の各種援護團體の連絡委員會を設置する等の方途により同會と各種團體との事業運営上の密接なる連絡を圖る様に指導したい。

六、戦災女子に對し衣料の即時配給

戦災者、引揚者の女子に對する衣料給與については政府を常に苦慮してゐるところである。引揚者、戦災者については現に一部實施してゐるが、この點については、今後更に事情の許す限り努力したいと考へてゐる。

陸軍省長

終戦連絡中央事務局

## 北鮮よりの那人引揚問題

終戦省理部

北鮮よりの那人引揚問題は終戦直後より大に了閣心を搖す蘇聯占領下に在る他の地域より如引揚問題と併せて其後十九日より聯合軍最高司令部に對し情報の提供及引揚促進を求めてゐる。

聯合軍最高司令部及在朝鮮米軍は於て北鮮よりの那人引揚は閣して極めて理解ある好意的態度を示し蘇聯に對して斡旋を計ら模様であるが本年一月南鮮よりの那人引揚が一段落するも月末京城に於て閑催せんと米蘇會議談判に於て本件が商議せられ由傳へられ引揚は俄然有り難く思はれてゐる。

然るに其の後成る米蘇委員会の商議不調が傳へられと共に北鮮那人引揚問題は頓時停頓して全く止まつた。其の間に司令部にて日或は東洋にて蘇聯化表と對し或は朝鮮米軍を廻じ、蘇軍当局に対し種々折衝を試みるが今日迄未だ

其行法を打開し得るに至らばいります。要するに本件は聯合軍最高司令部乃至米側の麥思文等解決出来ぬ問題となり國際情勢の微妙な影響を避け得られぬ常に難題かゐる。然して司令部及米側は極めて好意的態度を示し、あらゆる手段を講じ、其の居るのニ華國政府より所要情報提供等事之と前密接な連絡を保ち、力揚げ促進を計る外ならんと考へて居る。

右の如く北鮮より公函が引揚は未開城にて、邦人三百八十九名を越え南下し、南鮮に入り、米軍の好意に依て内地に引揚ぐ。来るもの、數は本年三月頃より漸次增加し現在には毎日二十名内外、内に叶は七〇名以上達し廣々蘇州の取締りは、米開港の如何作り、焦急の甚はるが故に收容を見送して居り、米側は襄陽、仁川、群山に毎日一千名以上を送還し得る日本般艘を配船し便宜を計つて号令を下す。今若腹告那入る前に情報中華人民共和国に對する

最近、情報によれば北鮮の據留邦人數は約十萬人である。終戦時約三萬（軍人を除く）と推算せられたる比するとは三十萬の減少であるが其中には孔と舊満洲より避難者一千一百四十萬人以上満洲に戻ったものばかり外に、脫出一万余十萬位と見られる。終戦時約十萬を数えたる軍人は蘇聯領へ連行されたらしい。